

科学技術イノベーション (Science, Technology and Innovation) による課題解決、そして地方創生へ

「STI for SDGs」アワード シンポジウム

(第60回科学技術週間記念行事)

参加無料



科学技術振興機構では、科学技術を用いて社会課題の解決やSDGsの実現に向けた取り組みを実施している団体等を表彰する「STI for SDGs」アワードを創設いたします。このたびアワードの創設を記念し、科学技術を用いた社会課題解決事例の紹介や、地方創生の在り方を提起するシンポジウムを開催いたします。

日時 2019年4月16日(火)
13時30分～16時30分 (受付開始13時)

会場 富士ソフトアキバプラザ 東京都千代田区神田練堀町3
メイン会場：アキバホール (5階)
サテライト会場：セミナールーム1 (6階)

※定員 (300名) になり次第締め切らせて頂きます ※受付は5階です

主催 国立研究開発法人科学技術振興機構

後援 文部科学省 (予定)



13:00～	受付開始
13:30～13:40	開会挨拶：文部科学省
13:40～14:40	基調講演：「SDGs実現へ向けたSTIと地方創生」 蟹江憲史 内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」幹事メンバー 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
14:40～14:50	休憩
14:50～16:20	事例紹介・パネルディスカッション ～科学技術を用いた社会課題の解決、そして地方創生へ～ (事例紹介) 武岡英隆 (愛媛大学 南予水産研究センター長) 海はいのち-「養殖王国えひめ」に向けた地域と愛媛大学の取組- 三田村宗樹 (大阪市立大学 教授/大阪市立大学都市防災教育研究センター 所長) 防災教育用ARアプリの開発・活用と地区防災ネットワーク構築への試み 野中朋美 (立命館大学 食マネジメント学部/EdoMirai Food System Design Lab 准教授) EdoMirai 江戸と未来をつなぐ食のシステムデザイン-地域の伝統を活かして新たな食ビジネスを創造- 荒川敦史 (科学技術振興機構「科学と社会」推進部 部長) 「STI for SDGs」アワードの紹介 (パネルディスカッション) ファシリテーター：本田隆行 (科学コミュニケーター) 蟹江憲史、武岡英隆、三田村宗樹、野中朋美、荒川敦史 (敬称略)
16:20～16:30	閉会挨拶：科学技術振興機構

参加をご希望の方は下記よりお申込みください。(申込期限：4/15 12:00)

https://form.jst.go.jp/enquetes/award_sympo
右記QRコードよりお申し込み下さい。

◇シンポジウムについてのお問い合わせ◇
国立研究開発法人科学技術振興機構「科学と社会」推進部
E-mail: sdgs-award@jst.go.jp

プログラムは一部変更となる
場合がございます

